

# 東成区の昭和 やぶにらみ日記

絵と文・柳たかを

## 独り言

小学2年の冬休みを使って、担任の女先生に頼まれてイソップ童話「アリとキリギリス」の紙芝居を制作したのですが、今を楽しみ、将来の心配なんてしないキリギリスの生き方と将来の為にコツコツ努力を重ねるアリの生き方の対比は、子供心にも堅実な努力の大切さがわかる話でした。

ところがその後、昭和の高度経済成長期（1960年代・昭和40年代）になると社会全体が消費することを奨励し、この童話のように将来に備え備蓄する堅実な考えを軽視するような風潮がひろがったと記憶しています。

コツコツ努力を続ける堅実な生き方こそ大切にしないと信じていた（現実に出ていたかは疑問）僕としては、そうした時代の空気に戸惑った記憶があります。

でまあ、私というのは明日の心配をせず、今さえ楽しければいいという考えにどっぷり浸かるのはどうしても不安で逆に楽しくない、リラックスできない性格のようです。



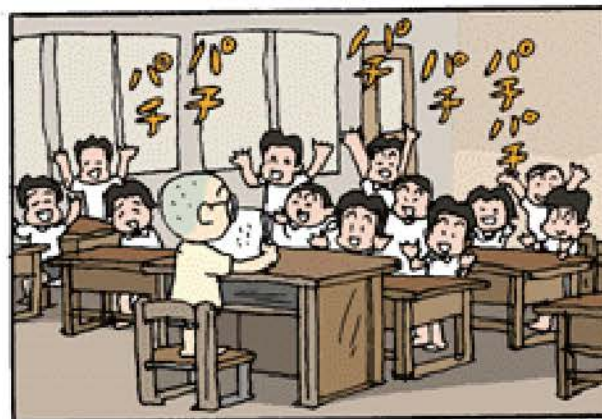
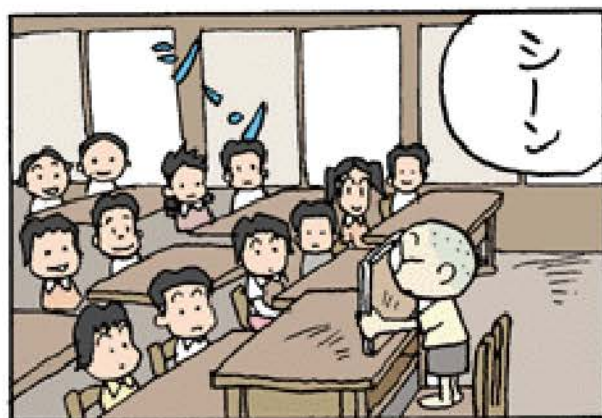






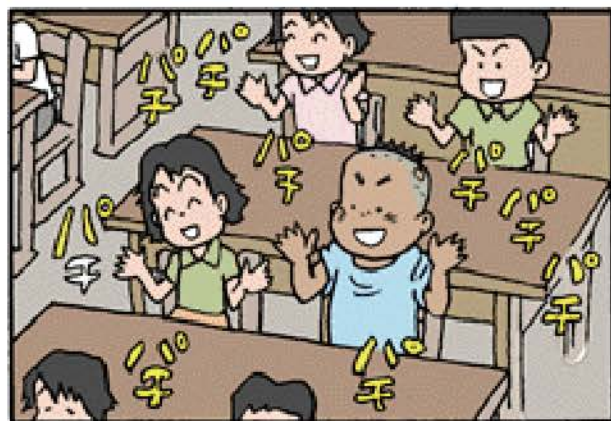
やぶにらみ日記 (574)  
**東成区の沼利**

(116) 写生



やぶにらみ日記 (575)  
**東成区の沼利**

(117) 写生





やぶにらみ日記 (576)  
**東成区の昭利** 

(118) 写生



やぶにらみ日記 (577)  
**東成区の昭利** 

(119) 写生





やぶにらみ日記 (579)  
**東成区の昭和** 

(121) 写生



やぶにらみ日記 (580)  
**東成区の昭和** 

(122) 写生





やぶにらみ日記 (581)  
 東成区の昭利 

(123) 写生



やぶにらみ日記 (582)  
 東成区の昭利 

(124) 写生





やぶにらみ日記 (583)  
**東成区の昭利**   
 (125) 写生



やぶにらみ日記 (584)  
**東成区の昭利**   
 (126) 写生





やぶにらみ日記 (585)  
**東成区の昭和**   
 (127) 写生



やぶにらみ日記 (586)  
**東成区の昭和**   
 (128) 写生

